＜石狩管内＞

「就労継続支援事業(B型)における農福連携等に関するアンケート」集計結果

平成３１年３月

北海道石狩振興局産業振興部農務課

＝　目　次　＝

1　アンケートの実施・回収状況と事業所の形態等　・・・・　1P

（1）アンケートの配布及び回収状況

（2）事業所の設置形態

（3）事業所の利用登録人数

（4）利用者の就労条件等

（5）就労事業による平均工賃月額（平成29年度）

2　就労事業と農業活動の内容、取組理由等　・・・・・・・・　3P

（1）B 型事業で行っている就労事業

（2）農業に取り組み始めた当初の理由、ねらい

（3）現在、農業に取り組んでいる目的

（4）農作業の内容

（5）農業に取り組むことによる工賃の向上

（6）工賃に占める農業の割合

3　農業を選択しなかった理由と今後の選択　・・・・・・・・　7P

（1）農業を選択しなかった理由

（2）今後の農業の選択

4　その他具体的内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9P

（1）B型事業で行っている就労事業について

（2）農業に取り組み始めた当初の理由、ねらいについて

（3）現在、農業に取り組んでいる目的について

（4）農作業の内容について

（5）農業を選択しなかった理由について

（6）今後の選択について

1　アンケートの実施・回収状況と事業所の形態等

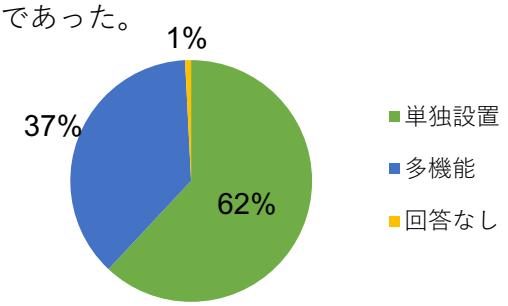
（1）アンケートの配布及び回収状況

石狩管内（札幌市含む）の就労継続支援B型事業所 386事業所に対して、回答数121事業所（回収率31.3%）
実施時期は、平成30年8月～9月

（2）事業所の設置形態

「単独設置」が62%、「多機能型」が37%であった。

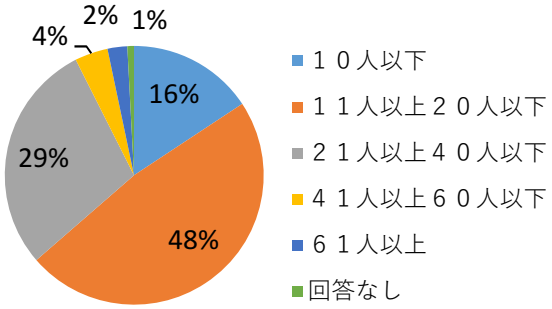
単独設置	75	62%
多機能	45	37%
回答なし	1	1%
計	121	－



（3）事業所の利用登録人数

「11人以上20人以下」がほぼ半数で最も多く、次いで「21人以上40人以下」であった。

１０人以下	19	16%
１１人以上２０人以下	58	48%
２１人以上４０人以下	35	29%
４１人以上６０人以下	5	4%
６１人以上	3	2%
回答なし	1	1%
計	121	－

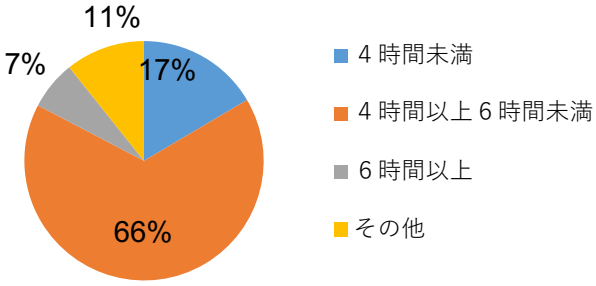


（4）利用者の就労条件等

＜就業時間＞

「4時間以上6時間未満が66%と圧倒的に多かった。

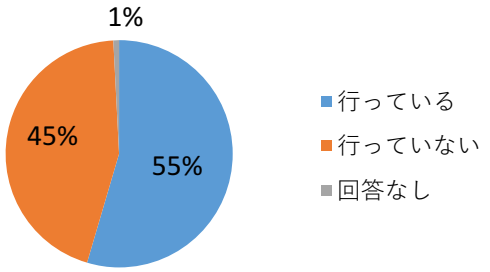
４時間未満	20	17%
４時間以上６時間未満	80	66%
６時間以上	8	7%
その他	13	11%
計	121	－



＜利用者への通勤支援＞

「行っている」がやや多く55%であった。

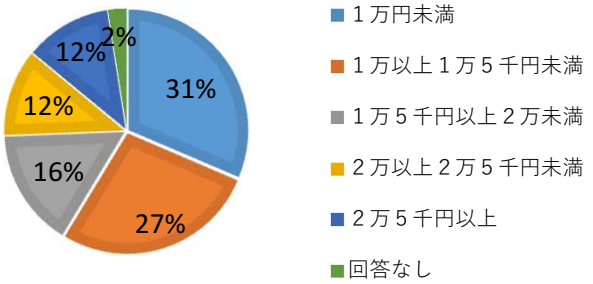
行っている	66	55%
行っていない	54	45%
回答なし	1	1%
計	121	－

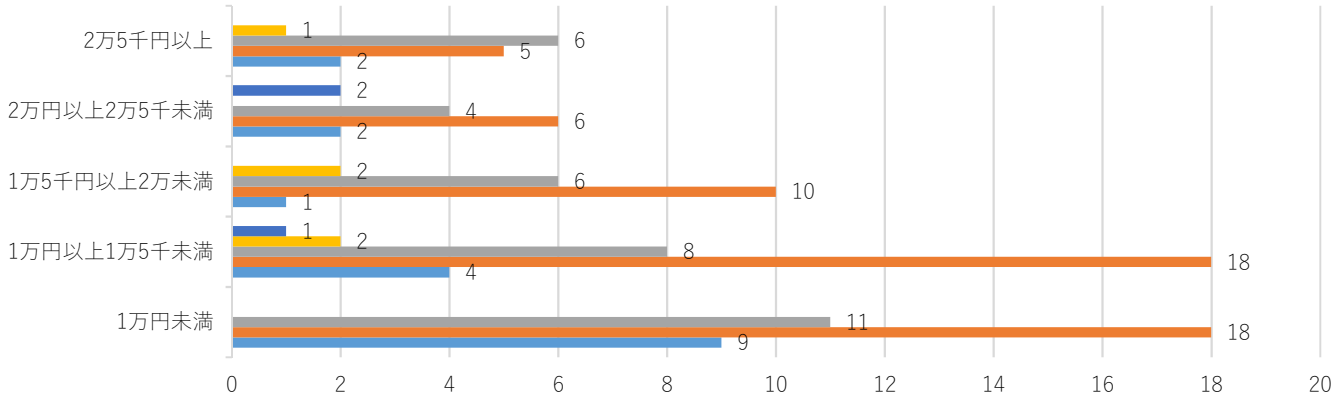


（５）就労事業による平均工賃月額（平成29年度）

１万円未満が最も多く31%であった。
なお、利用登録人数が41人以上の事業所では、全て1万円以上であった。

１万円未満	38	31%
１万以上１万５千円未満	33	27%
１万５千円以上２万未満	19	16%
２万以上２万５千円未満	14	12%
２万５千円以上	14	12%
回答なし	3	2%
計	121	－





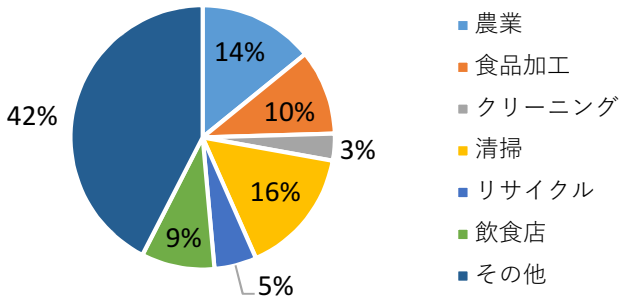
	1万円未満	1万円以上1万5千未満	1万5千円以上2万未満	2万円以上2万5千未満	2万5千円以上
61人以上		1		2	
41人以上60人以下		2	2		1
21人以上40人以下	11	8	6	4	6
11人以上20人以下	18	18	10	6	5
10人以下	9	4	1	2	2

２　就労事業と農業活動の内容、取組理由等

（１）B型事業で行っている就労事業（複数回答）

農業活動を行っているのは、14%（30件）であった。
その他の内容は、パソコンデータ入力やDM封入等が多かった。

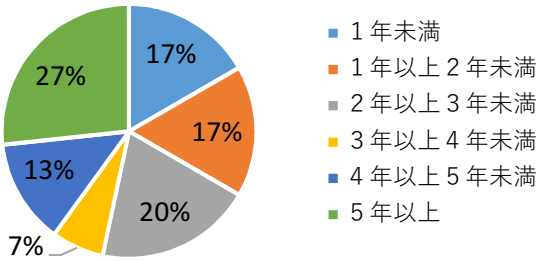
農業	30	14%
食品加工	22	10%
クリーニング	7	3%
清掃	33	16%
リサイクル	11	5%
飲食店	19	9%
その他	90	42%
計	212	－



＜「農業」を就労事業としてからの経過年数＞

農業活動を行っているうち、27％が5年以上前に開始している。
総じて、農業活動の実施時期は近年の割合が高い。
工賃に占める農業の割合が高い（7割以上）事業所では、80％が4年以上前に開始している。

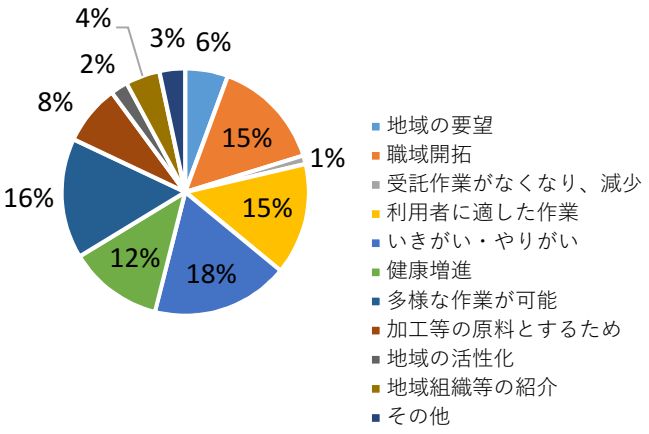
1 年未満	5	17%
1 年以上 2 年未満	5	17%
2 年以上 3 年未満	6	20%
3 年以上 4 年未満	2	7%
4 年以上 5 年未満	4	13%
5 年以上	8	27%
計	30	－



（２）農業に取り組み始めた当初の理由、ねらい（複数回答）

「いきがい・やりがい」が最も多く（18%）、次いで「多様な作業が可能」（16%）となり、「職域開拓」（15%）、「利用者に適した作業」（15%）、「健康増進」（12%）を含めた5項目で76％を占めた。

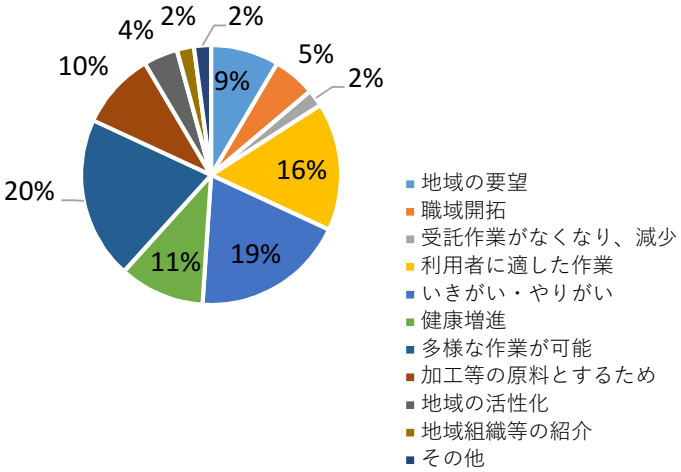
地域の要望	5	6%
職域開拓	13	15%
受託作業がなくなり、減少	1	1%
利用者に適した作業	13	15%
いきがい・やりがい	16	18%
健康増進	11	12%
多様な作業が可能	14	16%
加工等の原料とするため	7	8%
地域の活性化	2	2%
地域組織等の紹介	4	4%
その他	3	3%
計	89	-



（３）現在、農業に取り組んでいる目的（複数回答）

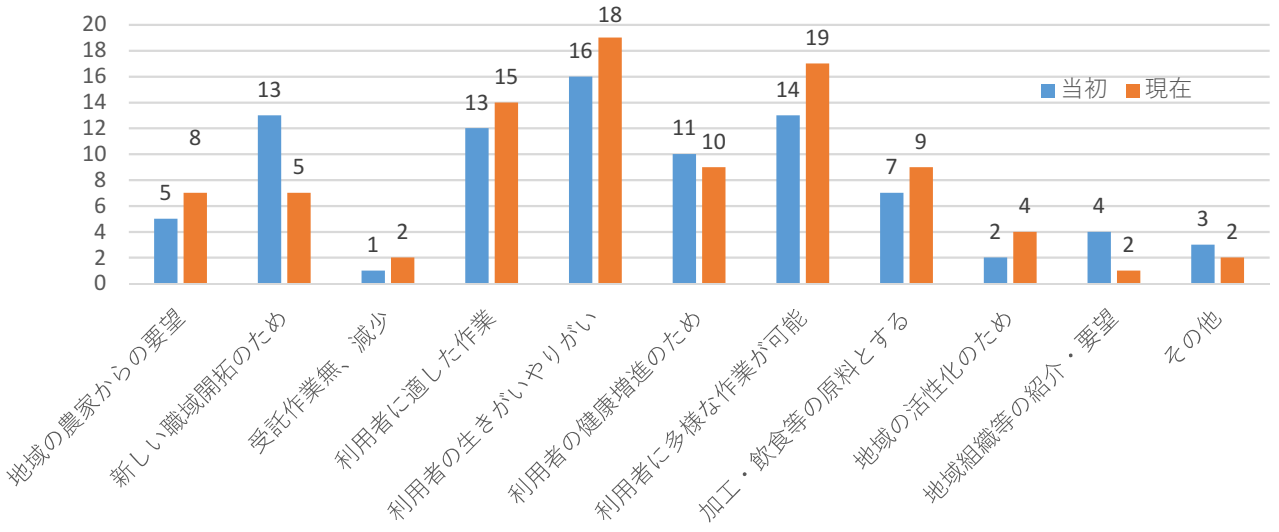
「多様な作業が可能」が最も多く（20%）、次いで「いきがい・やりがい」（19%）となり、「利用者に適した作業」（16%）、「健康増進」（11%）、「加工等の原料とするため」（10%）を含めた5項目で76％を占めた。

↑	地域の要望	8	9%
↓	職域開拓	5	5%
	受託作業がなくなり、減少	2	2%
	利用者に適した作業	15	16%
	いきがい・やりがい	18	19%
	健康増進	10	11%
↑	多様な作業が可能	19	20%
	加工等の原料とするため	9	10%
	地域の活性化	4	4%
	地域組織等の紹介	2	2%
	その他	2	2%
	計	94	-



↑　当初の理由から3ポイント以上のup
↓　当初の理由から3ポイント以上のdown

◉　「現在、農業に取り組んでいる目的」は、「農業に取り組み始めた理由、ねらい」と同様の傾向を示す。ただし、当初と比較して、「地域の農家からの要望」、「利用者の生きがいやりがい」、「利用者に多様な作業が可能」等が多くなった点で、年数が経過する中で徐々に地域に浸透している様子や、農業が障がいのある方の新たな就労の場として認識されてきている様子がみられる。



▌　開始から4年未満の事業所

「当初の理由、ねらい」から「現在の目的」に変更があった事業所は、８事業所であった。そのうち、4事業所において、「地域の農家からの要望」が追加された。

▌　開始から4年以上の事業所

「当初の理由、ねらい」から「現在の目的」に変更があった事業所は、7事業所であった。そのうち、3事業所において、「加工等の原料」が追加され、「生きがい」、「利用者に適した作業」、「利用者に多様な作業が可能」が2事業所で新たな目的となった。

▌　その他の記述（抜粋）

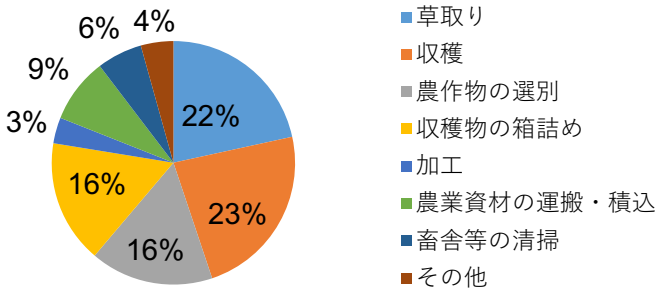
・『植物工場』は、一年を通じ安定した作業が見込まれる。
（「利用者に適した作業」を現在の目的に追加した事業所）

・農業は、様々な作業工程を組み合わせているため、やりがいの持てる作業工程を見つけることが可能であり、居場所と作業と収入を提供することが目的である。
（「利用者に適した作業」「利用者に多様な作業が可能」「加工等の原料」「地域組織等の紹介」を現在の目的とした事業所）

（４）農作業の内容（複数回答）

「収穫」（23％）と「草取り」（22%）がほぼ同数で多く、次いで「農作物の選別」（16%）、「収穫物の箱詰め」（16%）となり、この4項目で77％を占めた。
その他として、「播種」や「定植」、「移植」、野菜・花卉の販売等があった。

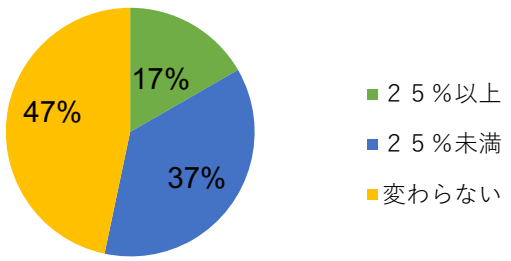
草取り	25	22%
収穫	27	23%
農作物の選別	19	16%
収穫物の箱詰め	19	16%
加工	4	3%
農業資材の運搬・積込	10	9%
畜舎等の清掃	7	6%
その他	5	4%
計	116	－



（５）農業に取り組むことによる工賃の向上

「低下した」と回答した事業所はなく、「かなり」と「少し」を合わせて「向上した」と回答した事業所が54％で過半となった。
農業は、事業所の工賃向上の一つのアイテムとして、検討できるとみられる。

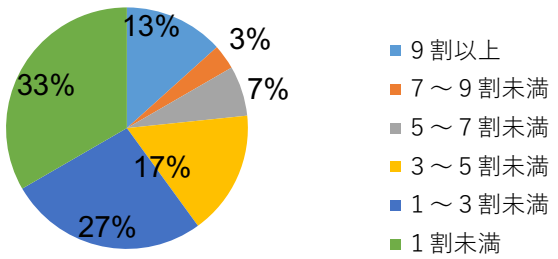
かなり（２５％以上）向上	5	17%
少し（２５％未満）向上	11	37%
変わらない	14	47%
低下した	0	0%
計	30	－



（6）工賃に占める農業の割合

工賃に占める農業の割合は低く、3割未満で60％であった。
なお、9割以上と回答した事業所のうち75％が、工賃について「かなり向上」したと回答していることから、農業に特化した事業所が安定した農業生産と販路を確保している割合が高いとみられる。

9 割以上	4	13%
7 ～ 9 割未満	1	3%
5 ～ 7 割未満	2	7%
3 ～ 5 割未満	5	17%
1 ～ 3 割未満	8	27%
1 割未満	10	33%
計	30	－

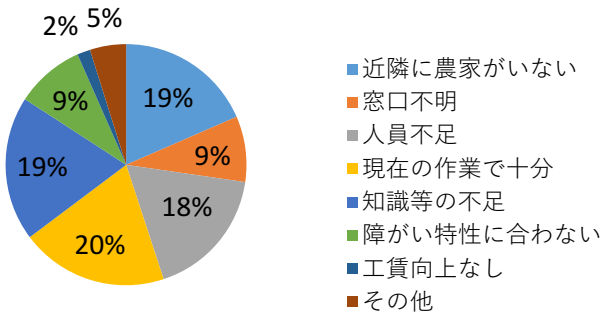


3　農業を選択しなかった理由と今後の選択

（1）農業を選択しなかった理由（複数回答）

「近隣に農家がいない」と「知識等の不足」を合わせてで38％となり、情報共有の場の確保や啓発活動が十分ではないとみられる。

近隣に農家がいない	42	19%
窓口不明	20	9%
人員不足	40	18%
現在の作業で十分	45	20%
知識等の不足	44	19%
障がい特性に合わない	21	9%
工賃向上なし	4	2%
その他	11	5%
計	227	－



▌ その他の記述（抜粋）

・利用者が少なく手が回らない。（利用登録人数10人以下の事業所）

・現状の作業内容が障がい状況やニーズの合っている。（利用登録人数11人～20人）

・農地の確保や資材等の条件を満たすことができない。（利用登録人数11人～20人）

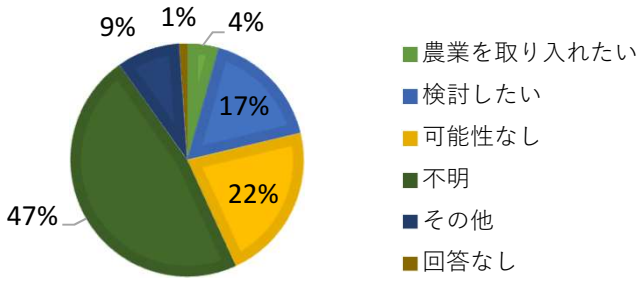
・相談する窓口がわからない。（利用登録人数21人～40人）

・作業体制がわからない。（利用登録人数21人～40人）

（２）今後の農業の選択

「農業を取り入れたい」と「検討したい」とで21％と低く、「不明」が47％で最も多く、「可能性なし」も22%であった

農業を取り入れたい	4	4%
検討したい	15	17%
可能性なし	20	22%
不明	43	47%
その他	8	9%
回答なし	1	1%
計	91	－



▌ その他の記述（抜粋）

・近隣で作業ができるところがあれば…（利用登録人数11人～20人）

・現在の事業は開設当初から目的をもって行っている。（利用登録人数11人～20人）

・利用者の高齢化、作業の見直し等が必要な状況。新たな作業などを検討する時期がきた時に検討するかもしれない。（利用登録人数21人～40人）

４　その他具体的内容

（１）B型事業で行っている就労事業について

- 縫製作業・ＰＣ作業
- お菓子作り・レジン・羊毛フェルト等小物制作・パソコン作業
- 下詰作業
- 手工芸・小物作りのサポート業務
- インターネット通販業
- 軽作業
- リサイクル牛乳パックから取り出したパルプを使った紙すき製品の作成と販売、市委託事業の公園清掃
- 小物販売
- 小物作り、販売、訪問販売、ネット販売、催事販売
- 給食製造・下請け事業（箱折・箸入れ・ゴミ袋入れ）・施設外就労（シーツ交換）・手工芸
- 菓子製造
- 請負作業による箱折等の作業
- 太陽光ではなく、蛍光灯を利用した作業室内で行っている水耕野菜栽培作業。主にリーフレタスやベビーリーフを栽培している作業
- 農業者からの依頼を受けての畑作業の支援や豆を預かっての選別作業など
- 冬期間は紙製品や木工などのクラフト作業
- 委託作業（箱折り、クッキー箱詰め、シール貼り、封入作業等）
- 印刷業、オークション出品作業、POP作り、就労に向けてのパソコン
- 企業から依頼された商品の検品、セット作り、梱包等
- ヤフーオークション
- データ入力、データ変換、オークション　他
- データ入力　メールマガジン配信
- 授産品の製作（和小物・衣類）、ポスティング、軽作業
- データ入力、文字起こし、ホームページ制作等
- 箸の封入作業
- パソコン等の分別解体
- ゲームテスト
- 紙器加工、粗品・忌中製品加工等
- 写真プリント
- 昼食調理販売（1日50食程度）、手工芸品制作（布草履・根付）
- 請負軽作業
- クラフトバンドで小物入れやカゴバッグを製作、販売
- チラシ折りなどの軽作業
- 日用品加工（割箸袋入・タオル袋入れ他）・手芸用品作成（元気ショップ向け他）

【（1）B型事業で行っている就労事業について】

- 軽作業、ドーナツ販売、ゴミ分別、ポスティング
- データ入力
- 出張講義、講演、動画撮影・編集、ラジオ番組制作・放送など
- 焼き菓子とパンの製造販売
- 石鹸製造、製菓製造(ケーキ、クッキー)
- 弁当箱の組立作業・レストラン補助（ウエートレス・ウェイター）
- 委託業務（箱折り・クッキーの箱詰め・封入作業）
- 手芸品
- パソコン文字入力や軽作業（箱折りやチラシ折りなど）
- 下請け作業（ポスティング・シール貼り等）
- PCにてチラシやポスター、イラスト、ホームページといった製作
- ポスティング、除雪、草刈り等
- ペットフードの袋詰め
- 家庭菜園
- 手工芸品、縫製品製作販売
- 請負軽作業
- 内相関係等の軽作業
- 箸入れ　シール貼り　ビニール袋畳み
- クロネコヤマトのメール便・ウエス・ビニール袋詰め
- データ検索　集計
- 下請作業が中心
- パソコンによるデータ入力
- 下請け作業、キャラメル箱折、バスセットづくり
- パソコン、ＯＡ機器類の解体・分別
- 仕出し業務、自主製品の製作・販売、地域情報誌の折り込と配布
- お土産品花布巾制作販売、羊毛洗浄作業、メール便配達、封入作業、建設資材袋入れ梱包
- 箱おりなどの受託作業
- データ管理：保守業務、HP制作管理
- 内職（DM封入・箱折り等）、ポスティング、草刈り、除雪
- データ管理：保守業務、ＨＰ製作管理
- パソコンを使用したデータ入力
- パン・菓子の製造販売、小物づくり（布物、紙物、レジン等）、カフェに併設するショップでの小物等販売
- 箱折り、パンフレットの封入・封緘など

パソコン作業(名刺印刷、封筒社名印刷、年賀状デザイン印刷)
手芸品作成及び販売

- 自家農園での野菜作成(小規模での土地を借り、昼食費材料及び利用者への提供)
- ダイレクトメール封入作業・紙器加工・シール貼・オリジナル雑貨製作・公園清掃

【（1）B型事業で行っている就労事業について】

- ポスティング事業、公園清掃・草刈り、マンション管理事業、カフェ事業、除雪作業　等
- PC作業でのデータ入力、テープ起こし
- イベント企画、野菜販売、ポスティング、公園清掃、病院訪問等
  農業については畑を所有している所へ出向き、手伝い程度
- ゼリー検品・箱詰め請負作業、ウエス加工請負業務
- チラシ折、ポスティング
- ポスティング事業、マンション管理事業、珈琲焙煎事業、除雪作業　等
- HP作成・管理業務、小物雑貨販売（猫じゃらし製作販売）、ビール・ジュースの王冠リメイク
- データ入力、軽作業
- 焼肉等ビニールエプロンの折り作業、農業収穫物の納品、菓子製造販売
- 麺、パン、クッキーなどの焼き菓子、冷凍生ぎょうざを製造しているので、それぞれの営業許可内で可能な委託業務を条件面が合えば受けている。
- 裁縫（がま口やバッグなどの小物製作）、リボンレイ、アイロンビーズ、パステル画、切り絵
- データ入力業務、ネーミング企画提案業務
- 給食調理・配食
- パッケージ・組立作業全般（化粧箱の組立、セットアップ、検品業務等々）
- 農作業・手芸作業・入力作業・受託軽作業・清掃業務
- パソコンによる名刺・チラシ等作成、ビーズ制作、キャンドル制作、箱折り、花壇の管理等
- 印刷業、軽作業（箱折り等）
- 中古のアルミホイールを研磨する作業、工作材料の羊毛の形成作業
- レザークラフト・ビーズ・水引・タティングレース・クロスステッチ商品製作・販売、商品開発の委託業務
- パソコンを使った作業（書類作成、デザイン・イラスト制作、マーケティング・企業リサーチ業務）、軽作業（封入・折込）
- レザークラフト・ビーズ・つまみ細工・クロスステッチ商品製作・販売
- 商品開発の委託業務、施設外就労（メンテナンス業務）
- パソコンを使った作業（書類作成、デザイン・イラスト制作、マーケティング・企業リサーチ業務）
- 名刺点字加工、内職（DM封入、チラシ折り、シール貼り、箱作り、ポスティングなど）
- 農作業・手芸作業・入力作業・受託軽作業・清掃作業
- パソコン作業（名刺作成、ポスター作成等）、クロスステッチ製品製作、羊毛フェルト製品製作、軽作業（箱折、梱包、ラベル貼り）、花壇管理等
- 箱折り　ホタテ穿孔　シール貼り

（２）農業に取り組み始めた当初の理由、ねらいについて

- 地域やグループホームで暮らしている障がい者の方に仕事をして工賃を稼いでもらい、少しでも自身の生活クオリティーを上げてもらうために事業を開始しました。また作業を通して生きがいややりがいを感じてもらうために事業を開始しました。
- 設立当初から農業生産を目的に現在地での事業所運営を始めました。現在６年を経過しておりますが、具体的に自前の農地を持っての農業生産は３年目です。機械力の不足や知識の不足など、近隣農業者の皆さんのお世話になりながら生産活動を行っていますが、最終目標は生産物の加工・販売までの６次産業化による、利用者さんたちの高い収入の保障です。
- 地域柄農業が盛んの村なので開設当初よりおこなっている。

（３）現在、農業に取り組んでいる目的について

- 福祉作業所を設立するにあたり農業、漁業、林業等色々検討しましたが、「植物工場」という作業があることを知りました。気候に関係なく一年を通して作業ができること、また毎日決まった工程を繰り返し、安定した作業を提供することが障がい者にとって非常に良い作業である思われ、この作業に辿り着きました。
- 農業は様々な作業工程を組み合わせて成り立つ産業です。作業工程のどこかに、自分に合った、自分がやりがいの持てる工程を見つけることが可能です。併せて加工・販売を行うことで、自分の作業を見つける範囲が広がることになります。自分の居場所を見つけられなかった人たちに、「ここでならやれる」という居場所と作業と収入を提供することが目的です。道はまだまだ遠いですが・・・。

（４）農作業の内容について

- 箱詰めした農産物の集積場への運搬（出荷）作業などのほか、委託を受けての豆の選別、生産物を使った食品加工なども行っています。家畜を飼うことは将来の目標です。
- 播種、育苗、定植、収穫作業を主に行っています。収穫したものの選別、袋詰め、シーラー、販売用の製品のシールや値札張り、箱詰め作業等を行っています。その他野菜プラントの清掃、栽培室内の清掃、使用したものの洗浄等を行っています。
- 苗が入ったポットに商品名入りのラベルを刺す作業（４月～６月初旬）・収穫後の販売
- 播種・定植・移植・野菜包装・野菜販売・メンテナンス作業（水耕栽培用のパネル洗い・ベッド洗い等）
- 花卉製造管理

（５）農業を選択しなかった理由について

- 利用者数が少なく手が回らない
- 事業所の目指す仕事内容との整合性が現時点では見いだせないため
- 特に理由はないが、パソコンの事業所としている為、利用者がパソコンの仕事を望んでいる為
- 現状の作業内容が利用者の障がい状況やニーズに合っているため。
- 農業は就労事業所の作業所として可能性を感じるが、農地の確保や施設資材の整備などの条件を満たすことが出来ず、新規に事業化する体制にもない。
- 直接自分達が農作業に携わる事は難しくても、農作物を使用した商品開発又は現時点で製作している商品に使用はしたい。農作物の製造側と製品の製作側との農福連携は必要。
- 予定があり農地を探している。
- 相談する窓口がわからないというのが一番大きいと感じております。
- 作業体制がどのようなものかわかっていない。365日作業が必要かなど。
- 法人内にて〇〇市内に就労継続支援A型事業所を運営しており、その事業所で梅園管理、ブルーベリー生産、食品製造を行っているため
- 法人運営の方向性として農業は該当しない。これまで農業を行うこと自体を検討したことがない。

（６）今後の選択について

- 現在1名が週1回施設外就労として農家で活動しているため、この形で継続していきたい。
- 現在大豆の選別作業を委託されて試験的に作業を行っているので発展させてゆければ良いと考えています。
- 野菜やきのこの栽培から取り組んでいけたらと模索中。
- 近隣で作業ができる処があれば。
- 農福連携には大変興味がありますが、現在の事業は開設当初より目的を持って行ってきているので、すぐには農業を事業として取り入れることは困難です。個人的にはこれからの状況を鑑みると農業を事業として取り入れることは大切なことだと思っております。当事業所は多機能型ですので生活介護事業での農作業を考えていけたらと思っております。
- 利用者の高齢化、作業の見直し等がいずれ必要な状況が見えている。現時点での作業科の縮小又は新たな作業に着手するかなど、色々検討する時期がくる。その時に検討するかもしれない。
- 農福連携にはとても興味がありますが、具体的な運用イメージがわかず、また不安なこともあり踏み切れていない側面もあります。
- 法人内事業ですでに行っているが、B型事業まで拡大するかは要検討。